

2007年3月期 中間決算説明会

2006年11月13日

取締役社長 関 誠夫



千代田化工建設株式会社

目次

1. DSP(ダブル・ステップアップ・プラン)2008の現況
 - Reliability Programの推進:信頼性向上
 - グループ・オペレーション体制の強化
2. 当社グループを取り巻く主たる経営環境
3. まとめ: Reliability No.1、収益成長企業を目指して

1 DSP (ダブル・ステップアップ・プラン) 2008の現況

経営ビジョン

Reliability No.1 プロジェクトカンパニー

収益成長型のエクセレントカンパニーを目指して



DSP2008の事業計画は前倒し、上振れで進行。次の4つの戦略について施策を展開中

<経営戦略>

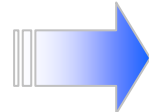
<現況:進捗状況>

S1

(顧客)

技術優位性を活かした事業展開

- Plant Lifecycle Engineeringの推進による
顧客との永続的な関係構築-



・ Reliability Programの推進

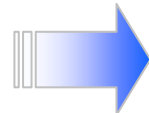
Engineering Criticality Study、Uninterrupted Start-up

S2

(業務プロセス)

グループ総合力を活かした

Smart EPCの推進による
プロジェクト遂行力の更なる強化



・ リスク管理力の強化 (Cold Eye Review)

・ 先進的ITの強化 (特に工事IT、調達IT)

・ グループ・オペレーション体制の強化 (6,000人体制)

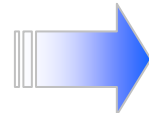
・ Lessons Learnedの活用 / Knowledge Managementの推進

S3

(財務)

次世代のビジネス創造に備えた

恒常的に健全な財務体質の確立



・ 自己資本の充実

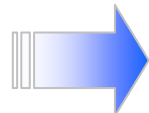
・ License Saleの高収益化と選択的な技術投資

S4

(人材と変革)

活かに溢れた

組織風土づくりと人材育成



・ BSC統合マネジメント

・ プロフェッショナル人材の採用継続

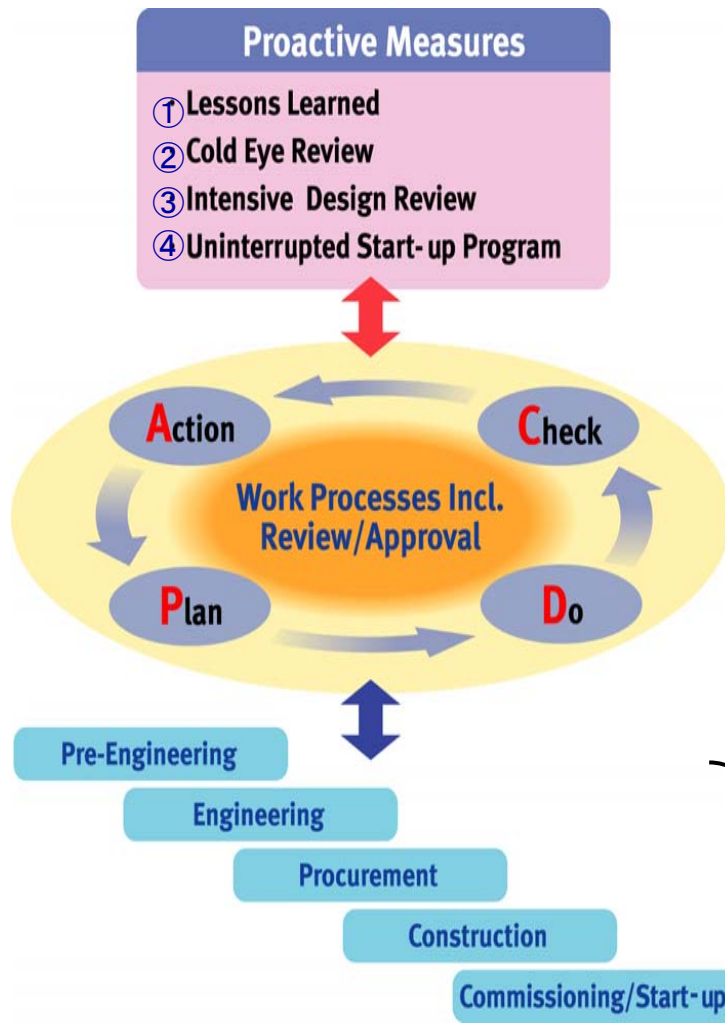
・ 再雇用によるベテランの活用と技術伝承

(千代田ユーテックの強化)

BSC : バランス・スコアカード経営管理手法

Reliability Programの推進:信頼性向上

Reliability No.1 を目指し、具体的な施策を地道に進め、更なる優位性を追求！！



①トラブル / 成功事例分析データベースによるフィードバック (Lessons Learned)

Lessons Learned 委員会により、全社規模のデータベースを通じてLessons Learnedを収集、プロジェクトごとに関連するトラブル・成功事例を抽出、関係部に周知し、成功事例を踏襲しトラブルは未然に防止する。

②コールドアイレビュー (Cold Eye Review)

独立したレビューアーによる、設計内容、プロジェクト計画、遂行状況のレビューにより、潜在的な問題点を積極的に把握し、修正や追加アクションの体制をとる。

③集中設計レビュー / クリティカル設計課題の抽出と検証 (Intensive Design Review / Engineering Criticality Study)

専門家による独立したタスク組織により、高度な技術課題、各専門部署にまたがるような問題について精査する。このレビューに際しては、千代田アドバンスド・ソリューションズ(ChAS)のよるSimulation、材料、解析の技術が活用される。

④トラブルフリープラント起動プログラム (Uninterrupted Start-up Program)

トラブルフリー起動の観点から、過去のLessons Learnedやリスク分析から予見できる問題点を独自のシステムにより抽出する。抽出された問題点を未然に防止すべく、EPCの各フェーズにてとるべきアクションを特定し、周知防止策をとる。

初期設計

設計

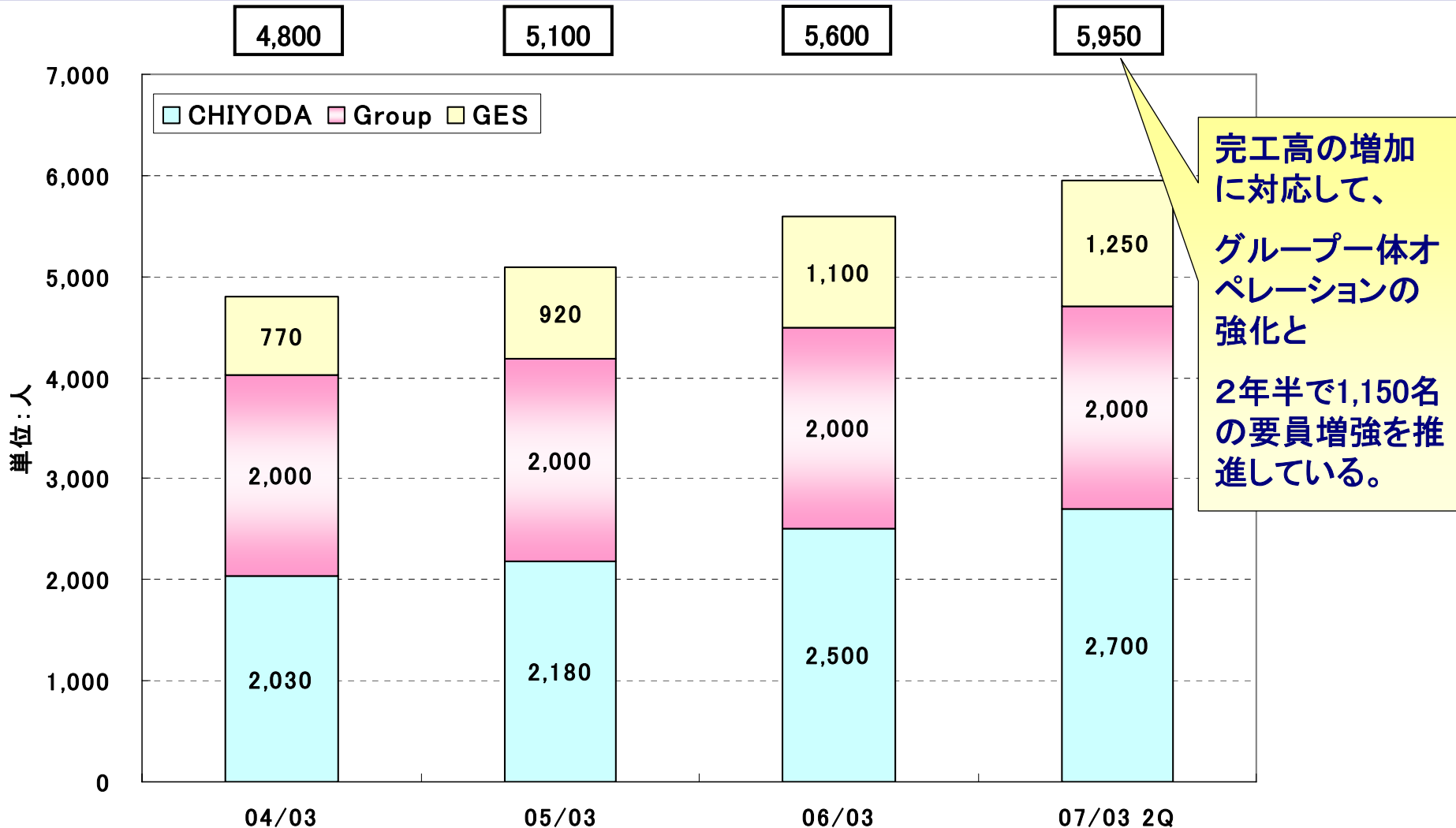
調達

建設

運転

プロジェクト業務の一連の流れ

グループ・オペレーション体制の強化



* GES=Global Engineering Satellites in the Philippines and India

当社グループを取り巻く主たる経営環境

マーケットは引続き堅調だが、不確実性の増大へ → リスク管理の一層の徹底

マーケット

社会・環境

プラント市場の
拡大・堅調
(サブコン手持工事満杯
・熟練工の不足)


ガス開発市場の
拡大
(LNG,ガス化学他)


地球環境・CO₂削減
(京都議定書)


プラント大型化


 **CHIYODA** グループ


企業の社会的責任
(CSR)への関心の
高まり

 千代田化工建設

 千代田アドバンスト・
ソリューションズ

 千代田工商

 千代田計装

 千代田テクノエース

グループ会社
(サテライト・エンジ・センター含む)

情報通信産業の
発展
(IT、情報家電等)

省エネルギー・
新エネルギー
(GTL他)

中国の経済成長
(機器・資材価格高騰
への対応等)

原油価格の
高止まり
(重軽油格差の拡大)

経済

エネルギー

DSP2008の2年度は、前倒しに進捗している。最近のリスク要因とその対応を確実にを行い、「慎重に加速」したい。



1. Reliability No.1実証のためのプロジェクト遂行

カテゴリー 3 Large LNG ・国内石油大型案件の成功

- 熟練工の person 費アップ、サブコン手持ち工事満杯
→パートナーとの関係強化、工事ITの強化など
- 不確実性の増大へ →リスク管理の一層の徹底

2. DSP2008達成に向けた施策展開

- 具体的目標の早期達成へ
(自己資本700億円、自己資本比率30%へ)

【お問い合わせ先/Contact】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

IR・広報室長 村田 卓弘

IR Manager Takuhiro Murata

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

携帯 090-3348-3484

e-Mail [tamurata@ykh.chiyoda.co.jp](mailto:tamura@ykh.chiyoda.co.jp)

URL <http://www.chiyoda-corp.com/>

この資料には、2006年11月13日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。